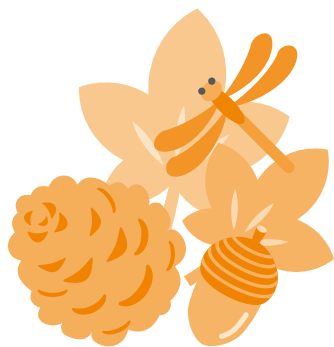




暖

D A N



ご自由にお持ち帰り
ください



2026.AUTUMN
No.13



写真：3B病棟プレイルーム

Contents

- P1～P2 地域医療の未来とともに
P2 information
- P3～P4 心不全パンデミックから街を守る
「はーとケアチーム」始動！
- P5 身障者駐車場・思いやりスペースのご案内



中核医療センター・地域医療支援病院

霧島医療センター

地域医療の未来とともに

霧島市立医師会医療センター 院長就任のご挨拶

病院長 重田 浩一朗

日頃より当センターの運営に多大なるご理解とご協力を賜っております皆様へ、謹んでご挨拶を申し上げます。この度、院長という大任を拝命いたしました重田浩一朗です。責任の重さに身の引き締まる思いです。私は昭和六十三年に自治医科大学を卒業後鹿児島大学、南種子町立病院、瀬戸内町へき地診療所、自治医科大学臨床検査医学講座等に勤務し、平成十四年から二十四年間当院で働いて参りました。一般内科、消化器内科、超音波医学を専門としています。

地域の皆様の健康を守る者として、当センターが担うべき役割の重さを改めて痛感しております。霧病と呼ばれていた時代から続く歴史ある当センターの歩みを継承し、二〇二五年二月に新しくなった病院で、次代に向けた新たな一歩を踏み出すにあたり、私の決意と当センターの展望についてお話しさせていただきます。

病院の基本理念は「病む人の立場に立つて信頼にこたえる医療を目指す」ことです。私たちのセンターは、霧島という豊かな自然と温かいコミュニティに囲まれた地で、地域の中核病院として医療を提供してまいりました。しかし、医療を取り巻く環境は常に変化しています。少子高齢化の進展や医療技術の高度・高額化、さらには物価高騰や人件費の上昇、働き方改革等による医療経営の難しさなど、私たちが直面している課題は決して小さくありません。

こうした状況下でも私が最も大切にしたいのは、「患者さんお一人おひとりの心に寄り添う医療」です。最新の診断技術や高度な治療を提供することは病院として当然の責務ですが、その方の背景にある生活、「ご家族の思い、そして「どのよう」に生きていきたいか」という尊厳にまで配慮できる医療を目指します。医療者と患者さんが対等なパートナーとして、ともに治癒やQOL（生活の質）の向上を目指す、そんな良好な関係性を築いていきたいと考えています。

様と強固に構築して参ります。

救急医療体制の充実と専門医療の提供についても、今後も力を注いでまいります。できる限り患者さんを受け入れ、適切な治療を提供できるよう、スタッフ一同のスキルアップはもちろん、チーム医療の深化にも努めてまいります。

職員とともに成長する組織へ

また、院長として、当センターで働くすべての職員が誇りとやりがいを持って働ける職場環境づくりにも注力いたします。医療とは、人が人に提供するサービスです。働く職員が心身ともに健康であり、専門職としての喜びを感じられ、適正な対価を得ることができる、物心ともに満足できる環境があつてこそ、最高の医療を提供できると信じております。多職種連携を推進し、お互いを尊重し合える文化を醸成することで、地域の方々が自慢できる魅力ある病院を目指します。

結び

霧島というこの地は、私にとって愛着のある大切な場所です。ここで暮らす皆様の健やかな日常を守ることは、私の誇りであり、生きがいでもあります。まだまだ至らぬ点もあるかと思いますが、職員一丸となって、地域の皆様のご期待に応えるべく全力で邁進する所存です。

今後とも、霧島市立医師会医療センターに変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



連携が生む県央での安定した地域医療

当院は公設民営として始良地区医師会が運営する病院です。当地域の病院や診療所の先生方のみならず、県央で空港を抱える利点を生かし、曾於地区、奄美大島、種子島等の離島、鹿児島大学をはじめとした県内の医療機関、さらに霧島市役所等との密な連携こそが、当センターの真価を発揮する鍵となります。その上で、診療報酬制度の変化に適応し、生成AI等を活用しつつ労働効率を高めていくことで、より安定した経営基盤のもとに医療提供ができる仕組みを、関係機関の皆様と

Information

がん交流サロンのご案内

令和8年度がん交流サロン年間スケジュール

日 時	テーマ（場所）	日 時	テーマ（場所）
4月23日（木） 14:00-15:30	高額療養費制度を中心に社会保障制度の活用～経済的支援について～ （2階講堂前）	10月22日（木） 14:00-15:30	頑張らない運動で不調をリセット～動きやすい体を手に入れましょう～ （2階講堂前）
6月17日（水） 14:00-15:30	抗癌剤と副作用～日常生活での対策と注意点 （2階講堂前）	12月24日（木） 14:00-15:30	手仕事しながら治療・生活について語り合いませんか？ （2階講堂前）
8月26日（水） 14:00-15:30	ストレスとリラクゼーション法（貝がらフォトフレーム制作） （2階講堂前）	2月25日（木） 14:00-15:30	外見のケアについて （2階講堂前）

※変更になることがありますのでお問い合わせください。

●紹介状について

当院を受診の際は、紹介元からの紹介状（診療情報提供書）が必要となります。ご持参が無い場合、選定療養費をご負担いただく事になりますのでご了承ください。



●予約について

当院は**完全予約制**となっております。受診の際は「**外来予約センター**」**(0995)55-0107**へ必ずご連絡の上、ご予約をお願いいたします。



心不全パンデミックから街を守る 「はーとケアチーム」 始動！



循環器内科 河野 智紀

■押し寄せる「心不全パンデミック」の危機

現在、高齢化に伴い心不全の患者さんが急増する「心不全パンデミック」という大きな危機が、私たちの街にも押し寄せています。日本の心不全患者数は二〇二五年時点で約二〇〇万人、二〇五〇年には約二五〇万人に達すると予想されており、当院でも年間二〇〇名を超える方が入院治療を受けています。心不全は一度発症すると、入院を繰り返しながら徐々に進行していく病気です。患者さんが住み慣れた霧島市で安心して自分らしい生活を送るためには、当院の急性期治療だけでなく、地域の医療機関との慢性期・回復期治療、医療関連施設や行政とも連携した退院後の生活支援、さらには「新規発症させないための予防」までを一本の線でつなぐ、シームレスな地域連携の強化が不可欠です。その取り組みこそ当院が霧島市の中核病院として果たすべき役割だと考えています。

■専門家集団「はーとケアチーム」の結成

この大きな挑戦に向き合うため、当院では多職種が力を合わせて患者さんを支える「はーとケアチーム」を立ち上げました。当チームは看護師（病棟、地域連携・入退院支援担当）、理学・作業療法士、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、公認心理師、医事課担当、診療録管理担当、臨床検査技師、循環器内科医師など、五名の心不全療養指導士を中心とした総勢二十名以上の専門家集団です。院内でのケアにとどまらず、霧島市内の病院やクリニック及びその関連施設と手を結び、地域全体で患者さんを支える体制を整えてまいります。

■「横の糸」と「信頼の糸」で霧島市民の健康を守る

心不全の増悪予防や発症予防には、医療者側の努力だけでなく、患者さんご自身やご家族が病気を正しく理解し、日々の生活習慣（減塩、体重管理、適切な服薬など）を共に見直していく歩み寄りが欠かせません。私たち「はーとケアチーム」は、地域の医療機関や行政と結ぶ「横の糸」を太く紡ぎ、患者さんやご家族と「信頼の糸」を固く結びながら、まずは十年構想で地域一体型の心不全ネットワークを構築していきます。

霧島市全体の健康を守るため、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



心理担当よりメッセージ

公認心理師（心の専門家）は「はーとケアチーム」の一員として、心不全の患者さんが感じる不安やつらさに寄り添い、気持ちの整理のお手伝いをします。また、治療を続ける意欲を高めるための相談支援や、ご家族へのサポートも行います。心と体の両面からケアすることで、患者さんがより安心して療養生活を送れるよう支援します。

リハビリ担当よりメッセージ

心臓リハビリテーションでは、理学療法士が「運動の専門家」としてチームに参加しています。心臓の病気の回復には、安静にしすぎず、でも無理をしない「ちょうどよい運動」がとても大切です。理学療法士は患者さんお一人おひとりの体の状態にあわせた運動プログラムを作り、安全に体力を取り戻せるよう、そばで見守りながらサポートします。「また料理をしたい」「趣味を続けたい」あなたの「やりたい」を一緒に取り組んでいきます。

薬剤担当よりメッセージ

心不全の治療では、たくさんの種類の薬を飲む必要があります。患者さんの中には「こんなに飲んで大丈夫？」といった不安を抱く方も少なくありません。そういった不安を取り除くため、薬剤の役割と重要性について丁寧な説明を行っています。また、地域連携を重視し、院外薬局と連携することで、副作用や服薬状況の確認等、継続した服薬サポートが出来る環境を整えています。

心不全療養指導士よりメッセージ

心不全は、増悪を繰り返しながら徐々に心機能が低下していく病気です。そのため、入院中の治療だけではなく、退院後も患者さんやご家族の生活に寄り添った継続的な関りが重要です。心不全の増悪予防には、患者さんやご家族が体調の変化に気づき、生活を整える力や早期受診の判断力を身につけることが大切です。看護師は、患者さんお一人おひとりの生活背景に合わせたセルフケアへの支援を行っています。多職種と連携しながら、患者さんとそのご家族に寄り添い、その人らしい生活を大切にして、病気と暮らしの両方をサポートしていきます。

地域連携担当よりメッセージ

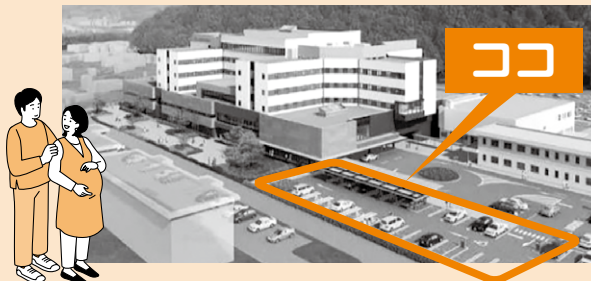
心不全患者さんが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、退院後の療養先や、在宅支援の調整を行っています。地域の医療機関、訪問看護、介護サービス等との切れ目のない連携を大切にし、患者さんお一人おひとりの生活に寄り添いながら、再入院予防と、安心して暮らせるように、地域全体で心不全患者さんを支える体制づくりを目指しています。



身障者駐車場・思いやりスペースのご案内

当施設の駐車場には、身体の不自由な方や妊娠中の方など、車の乗り降りや移動に配慮が必要の方のための「身障者駐車場・思いやりスペース」を設けています。

このスペースは、必要とされる方が安心してご利用できるように設置された駐車区画です。



みなさまのちょっとした思いやりとご協力が、利用される方の安心と快適につながります。対象となる方が気持ちよく利用できるよう、身障者駐車場・思いやりスペースの適正な利用にご理解とご協力をお願いいたします。

駐輪場をご利用ください

自転車・バイクで来院される方は、正面玄関横の駐輪場をご利用ください。

玄関前や通路への駐輪は、歩行者の安全確保や緊急時の避難の妨げとなります。



正面玄関横に設置しています

皆さま一人ひとりの思いやりとマナーが、誰もが利用しやすい環境づくりにつながります。ご理解とご協力をお願いします。

未来のあなたと、大切な人のために。

PET検診で

早期発見・早期治療を

がんの早期発見に有効！

PET検診は、がんの早期発見に有効な検査です。からだの状態を「見える化」し、健康な未来を守りましょう。

がんの早期発見に優れています

小さながんや転移・再発も発見しやすく、早期治療につながります。

※全てのがんが発見できるものではありません

がんの早期発見に優れています

小さながんや転移・再発も発見しやすく、早期治療につながります。

※全てのがんが発見できるものではありません

全身を一度に詳しく検査

一度の検査で全身をくまなくチェックします。

身体への負担が少ない検査

撮影時間は約20～30分。痛みも少なく、リラックスして受けられます。

こんな方におすすめです

- ☑ がんの早期発見・予防をしたい方
- ☑ 家族にがんの既往歴がある方
- ☑ 忙しい、なかなか検査の時間が取れない方
- ☑ 健康に自信がある今だからこそ、確認したい方

大切な未来のために、今できることを。

定期的な検診で、安心を手に入れましょう。

あなたの健康を守る第一歩。ぜひPET検診をご検討ください。

年に1回の受診をおすすめします

検査時間は約2～3時間

ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ

※PET検診は保険適用外の自費診療です。



〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永3320番地

霧島医療センター

TEL 0995-42-1171 (代表) FAX 0995-42-2158

受付時間 8:30～11:00 診療時間 8:30～17:30 休診日 土・日・祝・年末年始

↓ 職員募集中 ↓

Instagram



@KIRISHIMA_MEDICAL_CENTER

看護部Instagram



@KIRISHIMAMC_JOBOFFER

ホームページ

